

<キャリア・コーディネータとしての役割>

私は、子ども達が将来社会を自立してたくましく生きるためには、社会と接点を持った教育活動が大切だと考えています。そのためには、学校、保護者、地域が力を合わせ、子ども達の成長を支援することが必要です。そこで、私は学校図書館が情報発信基地となって、人と人を繋ぎ、皆が連帯して子ども達の「生きる力」を高める取り組みを行っていきたいと考えています。本年度、私はキャリア・コーディネータとして、地域の人や校外の専門家とのパイプ役として「キャリア教育」と「ホンモノによる体験学習」のコーディネータに取り組んでいます。具体的には、地域で社会貢献活動をしている NPO 法人、行政機関や大学とのコラボ体験活動（交流会）を行っています。



それらの活動を通して、子ども達はワクワク・ドキドキする本物との出会い、実社会の本気の大人の迫力などを実感しています。私はこれらの体験が、子ども達の主体性、社会性、行動力を高め、将来子ども達がリーダーシップを発揮して、社会に貢献してくれると確信しています。



21 世紀は知識基盤社会といわれ、この時代を子ども達がたくましく生き抜くために、私はキャリア・コーディネータとして、学校と外部教育力を繋ぎ、子ども達の学力と共に人間性や社会性を高めて、子ども達が自己実現できるよう応援したいと思っています。

(文責：森裕一)